

1 目指す児童像

「自らを磨き「自己実現」を図る子」

様々な活動に繰り返し取り組みながら成就感を味わい、自己肯定感を高める。そして周りの人や物地域社会とたくさん関わりながら活動することで自己理解を深めていくようにしている。自分の強みを伸ばし、弱みとなる部分は補完する方法を身に付けながら、将来のより良い生き方、働き方を見出そうとする気持ちを育て、目指す生徒像～自らを磨き「自己実現」を図る子～に迫っていくと考える。

2 目標

- ・ 自己の健康を管理し、体力の保持増進に努めることができる。
- ・ 活動内容や役割を理解し、進んで活動に参加できる。
- ・ 返事、挨拶、報告が気持ちよくできる。
- ・ 自分の気持ちを伝えたり、分からないことを聞いたり、頼んだりして活動できる。
- ・ 他者と活動し、自己理解や他者への思いやりを深めることができる。
- ・ 社会常識を身に付け、地域社会の中で活動できる。